

スーパーSUVに対応する
22インチをラインナップ



O-Z Montecarlo HLT

モンテカルロHLTは数あるO-Zホイールの中でもSUV&ラグジュアリーカーを狙っているモデル。HLTとは鋳造でありながらも鍛造並みのインナーリム強度を実現したO-Zならではのフローフォーミングテクノロジーで作られた証である。

そのデザインは秀逸。基本デザインはシンプルな5本ながらイタリアならではの凝った作りが施されている。まずはセンターに向かってなだらかに湾曲したコンケーブスタイルとしたダイナミックなスポークに注目したい。マシニングによるローレット加工を施すことで長いスポークをより立体的に見せ、その加工はセンター側とリム側でちょっと捻りを加え躍動感を醸し出す。一見するとスポーク自体が捻っているかのようだ。スポークはリムに繋がる部分をアンダーカット

して立体感をさらに高めている。リムエッジもスリットを入れてスポークとの繋がりをカットし、さらにスポークの“捻り”に呼応して微妙に幅を変えている。憎いほどの凝りようだ。

カラーは、お洒落なマットダークグラファイトポリッシュと精悍なマットブラックを設定する。

サイズは19、20、22インチと大口径。PCDは110、112、114.3、130に対応しているから、国産車も含め、ヨーロッパ系の最新SUVのみならず、Eセグメントのセダンと幅広くフィティングできる。トップエンドの22インチはメルセデスベンツGLEやアウディQ7、ポルシェパナメーラがターゲットだ。

最近のSUVはブームを通り越して完全に一般化している。ビッグサイズSUVは車重が2トンオーバー。と言うこ

とは1輪当たり荷重は500kgを超える。となれば支えるホイールの役目は重要だ。その点で言えば、車種ごとにヨーロッパ基準であるTÜVに対応しているO-Zホイールは心強い。加えて日本で販売するためJWLもクリアしているから二重のチェックを経ている。「安心・安全」こそO-Zの身上だけに納得である。

O-Zは常にモータースポーツにおいてウイニングホイールであり続けている。今年もF1の10チーム中7チームが採用し、WRCやフォーミュラEでは100%がO-Zを履く。1984年のF1参入以来、モータースポーツの世界で“攻め”の姿勢を維持しているO-Zならではのスピリットは、SUV&ラグジュアリーカー向けのモンテカルロHLTにも確実に息づいている。デビュー後5年を経てもまったく色褪せていないのは、そのためだろう。



ポルシェ カイエンにベストマッチするモンテカルロ HLT。写真のマットブラックはスパルタンな雰囲気演出してくれる。

O-ZモンテカルロHLT
アルミ鋳造1ピースホイール



オーゼット ジャパン 代表取締役
内山晶弘氏。



価格：72,360円～135,000円

カラー：マットダークグラファイトダイヤモンドカット、マットブラック
<http://www.oz-japan.com>